(昭和七年九月三十日第三種郵便物認可)

東北商工時報

毎月三回一日十日廿日發行
編輯兼發行人　高木喜代治
福島縣平町新川町廿三
發行所　東北商工時報社
印刷所　昭和活版所
廣告料　一行　金五十錢
一部金五錢　一ケ月十錢
一ケ年郵稅共一圓廿錢

處女雪の天地は拓けて
山の湯！雪の山！遊子の胸は躍る
沼尻　中の澤温泉

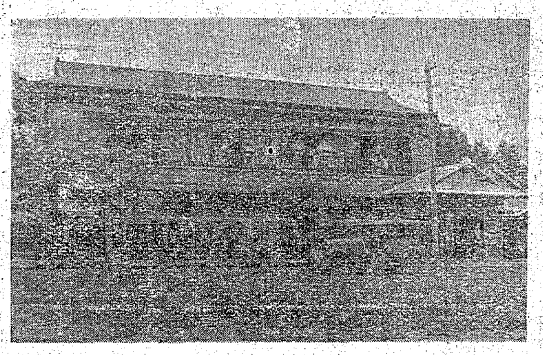
東北本線郡山驛より磐越西線に乘り替へて僅かに一時間雪の磐梯勇姿を千古の靜寂な碧水に浮べる邊に川桁驛がある。此處より耶麻軌道に乘替へて磐梯と安達太郎山との凡地を走る事四十分沼尻の溫泉鄕に着く

沼尻溫泉は中ノ澤、沼尻、横向、の三湯に分れ海拔三千尺の高地に散在し溫泉に佳し、キャンプに良し、スキーに佳い大氣爽やかな理想的溫泉鄕である有名な沼尻スキー場は去る大正八年早大山岳部の手によつて創始されたスキー場である。

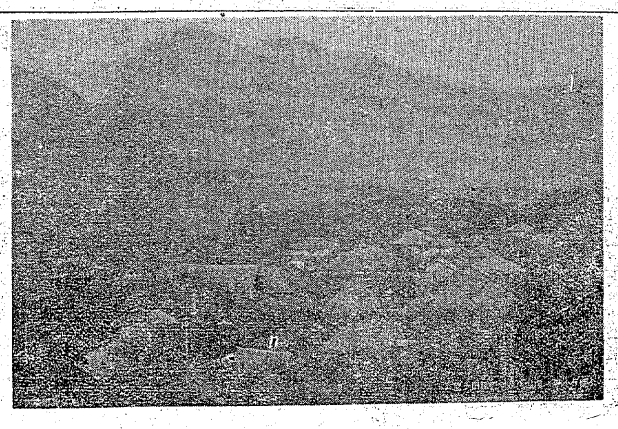
總面積は二萬坪にわたりこれを形上初步練習コース普通練習コース及レースコースの三つに別れ、面積の廣大なる事あらゆるコースを網羅してゐる事は沼尻スキー場の最大特色である。

休憩所やシャンツェの設備も整つて居り雪は紛雪で相當堅く一月上旬より二月下旬までは平均四尺の積雪あり、滑れる期間は十二月より三月末までいある。

宿舍は何れもスキー場へは極めて至便であり中にも朝日屋旅館、西村屋旅館は準備萬端を整へて早やくもスキーヤーの來場を待つ有樣である、又耶麻軌道部が本年新設せられた姫沼スキー場は理想的なジャンプ臺を設けたがシャンツイ高さ二米半幅八米、アグローチ七十四米半、ランテング百十二米、ゴール外百米で此の外、高さ二十米の鐵骨審判臺あり又電氣捲揚機裝置の指導標は近々落成の通びに至り東北一のスキー場として今こそ冬の王者の來るを待つて居る。銀盤の上に花と咲く人々の悦びよ……ウィンタースポーツの天地はかがやかしく拓けてゐる



——(朝日屋旅館)——



何れも内湯の設備あり

沼尻スキー小唄

會津沼尻
雪降りや都
六つの花見は
スキーでする
ドッコイショ

雪の沼尻
あこがれ來れば
心とけます
お湯の中
ドッコイショ

雪のお山の
沼尻小屋は
可愛いスキーマンの
足だまり
ドッコイショ

送りませうか
スキーで君を
せめて湯川の
橋までも
ドッコイショ

中ノ澤溫泉
朝日屋旅館
西村屋旅館
白城屋旅館
花見屋旅館
扇屋旅館
沼尻溫泉
田村屋旅館
磐城屋旅館
横向溫泉
瀧川屋旅館

小名濱地元寄附問題
地元會社縣當局
歩み寄るか？

小名濱商港修築費地元負擔金二十二萬五千圓については八月鈴木町長外二名が上京各炭礦本社を訪問して諒解を求めたが　炭礦側としても商港完成後は却つて石炭其他の逆輸入が行はれるものと云ふので躊躇してゐる始末であつたが此の度小野前縣議は鈴木代議士と共に淺野翁の百萬圓寄附問題以來最も關係の深い磐城炭礦本社を訪れ前川專務と會見の上更に縣當局の意向を叩くことゝなり　兩氏並に鈴木町長は十五日出縣　赤木知事　赤土內務部長との間に懇談を重ねた結果土肥土木課長が上京して前川磐炭專務と會見することゝなり問題は何れにか急轉回するものと觀られてゐる。

せる政府は肥料の統制かそれと不可分的に或はその前提として焦眉の急務であることに　留意すべきである

複雜なる日支間の係爭が直接利害關係のなきものゝ間に容易に諒解されるものとは思はないが　聯盟加入國はその唯一の虎の卷とするリットン報告書とこれに對する帝國政府の意見書とは深甚なる注意の下に仔細兩者を合せ見れば日本の取つた行動の妥當公正なものであることゝ　日支兩國間の關係が西歐諸國の國際關係に比して　更に微妙なる持殊狀態にあることが自ら會得された筈である　支那の無秩序狀態はブリアンの名言『支那とは何ぞや』を今日に於いても猶ほ且つ想起するに十分の價値がある事件の性質を正確に知らずしてたゞ徒らに卓上の空論を以つて律せんとすることの危險なるはいふまでもない今後大國側が如何なる方法によつて此の間に處せんとするか優矛不斷の態度に終始するに於いては混亂は免れ得ないであらう。

商工月旦

現內閣は時局匡救豫算の下に　農村救濟に少からぬ努力を拂つて居るのであるが其の得る處は果たして幾何か　勿論不動產資金化や各種の土木事業低資融通のみに農村の起死再生を望むことの無理なるは云ふまでもないが　最近の爲替安に伴ふ物價高は益々農村を苦況に追込みつゝあることは看過出來ない　昨今の農產物價に比べて異常な肥料價格の奔騰は　まさに農民へ七首を擬するものと云ふて良い　米穀統制に稍熱意を示

八面觀

▼飯坂町會議員諸氏に告ぐ　飯坂町の第一の事業としては町內各道路の改修浴場施設の完備下水の淺せつを圖り各自の小感情を捨て町政の發達に赤誠を致すべく盡力らせれん事を希ふ。

▼大體政治家なんて一定の職業もないくせに選良だなんだと吐かしてノサバルに至つては沙汰の限りだ閥や金で幅が利くと思ふて惡い事すると地獄に落るぞ。

▼十綱附近で女の尻を追ふ不良團を檢擧しては如何ですか然もなくば風紀問題ばかり矢釜敷く云ふても何もならん。

▼飯坂町の某溫泉旅館附近から毎朝五時半頃から白首の幽靈が出るとの話

▼飯坂の某政治ゴロは立派な事を口にして居るが自分の裏面を見よ。

▼昔から醫者と坊主といふ話があるが近頃のやぶ位い根性の卑しい甚だ怪氣な看板を揚げて陰口を叩いて喜んで居る。やぶが居るには飽れるよ。

▼世界中で丁抹が一番砂糖を使ふさうだ其國の女中さんは屹度大びらで砂糖をなめるでせうあまい男は行き賜い。

▼不景氣の爲めか茶屋女の發展振りには驚くよアンコロが五十錢均一の大賣出しだもの。

▼毎日泣きの涙で居る藝妓裙が飯坂町に居る少しは慰めておやりよ平町人。

（昭和七年九月三十日第三種郵便物認可）

飯坂湯野溫泉紹介

—古川生—

飯坂溫泉は全國に於ける著名溫泉として年々拾萬余の浴客を收容し、股賑を極てゐる。我飯坂溫泉は福島市より西北約二里、東北本線伊達驛より三十丁福島より電車自動車にて二十分、伊達驛より十五分にて到着すると云ふ至極交通の便利な地點にあり而して飯坂溫泉は戸數千五百戸、人口五千八百尙ほ同溫泉と摺上川の清流を隔てゝ相對する湯野溫泉は戸數七百戸、人口千五百兩溫泉を合すれば人口一萬余に達せんとする大溫泉場である。殊に同溫泉は風光の絶佳なるは容易に筆舌に盡し能はざる程で溫泉町の西北は綠滴る如き山岳を背景にし東南一帶は果てし盡きざる平野にして、更に西南遙かに吾妻小富士の秀峰を眺め、摺上川の清流に臨める高崖の地にありて空氣新鮮なると、各旅舍の樓上よりの眺望とは天與の設備にして蘇塔娑の所謂山間の明月と江上の清風とは客の恣に取るに任せ、殊に夜間の四層或は五層各旅館より摺上川に流るゝ光は突然パノラマの如く我飯坂溫泉ならではこの絶景に接する能はざる程のものである。又同溫泉には名所舊蹟多くして西方約十町の場所には鵬城趾あり寛治年間信夫莊司佐藤季春の築いたもの師春、基春の三代の居城であつて塹壕その他は今尙ほ存し其の當時のおもかげを殘して居る、西南約十町には迭王寺ありて天長三年空海上人の開山にかゝる眞言宗の古刹である、境内に嗣信忠信の墓や義經手植の虎の尾の松等があつて、昔をしのばして居る。西方約十二丁大作山の麓には日本四天玉寺として有名な古刹あり聖德太子の像、基治夫人の守本尊とした觀革像、坂將監宗康墳墓伊達照宗の位牌等あり其附近には愛飯宕山公園、芋殼館名所舊蹟が頗る多い、なほ溫泉効能はラヂユームを含有し町内至る所に湧出し、概ね弱性の鹽類泉にして無色透明異臭味なくリウマチス、脚氣神經系症、貧血症、腺病等に効驗あり又一般浴客のために貸切り湯、貸間自炊賄制の設備ありて浴客本位を旨として何れも營業をなしつゝあり次號から角屋花水館、ますや、各旅館を紹介せん。

飯坂湯野溫泉旅館案内

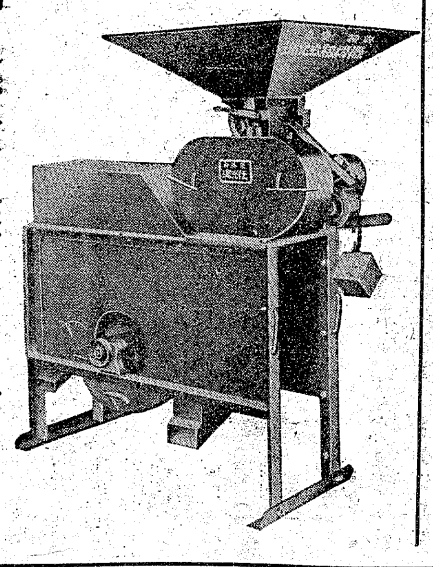
花水館　電話一一三番
角屋　六、一八、一〇六
泉洲閣　電話九、二一九番
小川屋　電話一〇番
赤瀧　電話二二八番
若喜　電話四八番
ますや　電話四番一六四番
田丸屋　電話一七二番
萬人風呂　電話二三三番
天王寺溫泉
立花屋旅館　電話一四五番
藝妓家
春日家　電話二番
橋本館
湯野屋　電話五一番
泉屋本店　電話三七番

前野屋　電話三六、一三六番
東館　電話一四八番
亀屋　電話一三五、二六〇

信夫屋　電話一二七番
稲荷屋　電話一三五、二六〇
藝妓家
亀の江　電話三九、一〇六番
新松葉　電話一六一番

支局開設
信夫郡飯坂町十綱十一
本社顧問　古川浩民

瑞光式籾摺機
販賣店
福島縣平町七丁目四二
正金商會
芳賀沼源太郎　電話三九〇番



名湯
花園鑛泉
神經系統胃腸に靈妙
白川郡棚倉町
權現湯　旅館料理

ヨウモダーン！
斷然三三年型だナ
ドコの新調だい
コレハレイのソレ正札堂さ
品は豐富で撰取り見取り
時代をリードするこのスタイル
平町四丁目停車場通り
電話四三六番

清水正宗
清水屋本店
小名濱町中島通り
電話六番

薄利多賣ノ親玉
いとう家具店
家具製造　月賦販賣仕り候
簞笥雜貨
石城郡平町新川町通り

和洋銅鐵金物問屋
㊁釜屋商店
磐城平町五丁目
電話九番　九九番
東京振替貯金口座一〇九五六番

株式會社
郡山市大町
丸伊呉服店
社長今泉得三

美人のサービス
自信アル〇料理
電話四六三番
平町南町
カフエー
パラダイス